

ニカラグア定期報告（2013年4月）

2013年5月
在ニカラグア日本国大使館

1 内政

- 9日 ランチョ・グランデ市において、市議会の召集を求め野党が抗議デモを実施。
マイラ・サリーナス新観光庁副長官が新長官に就任。
- 16日 最高選管(GSE)は3つの政党の法人格を停止。
- 17日 国会は、ニカラグア・ロシア文化センターの設立を承認。

2 外交

- 3日 米国国土安全保障省の一部である移民局(USCIS)は、米在住ニカラグア人に対し一時的身分保障(TSP)を18ヶ月再延長することを承認(有効期限が2015年1月5日まで延長)。
オルテガ大統領は、フォンセカ湾問題についてロボ・ホンジュラス大統領と協議(於：マナグア)。
- 4日 ニカラグア政府は、朝鮮半島における対立解決のための対話を呼びかける外務省プレスリリースを発出。
- 8日 ヌニェス国会議長はイランを訪問し、アフマディネジャド・イラン大統領と会談(於：テヘラン)。
- 11日 台湾練習艦隊がニカラグアに寄港。
- 15日 オルテガ大統領は、マドゥーロ・ベネズエラ大統領候補の勝利への祝辞を発出。
- 17日 ICJは、ニカラグア・コスタリカ国境に関する二つの係争案件を統合しひとつにすることを決定。
- 19日 オルテガ大統領は、マドゥーロ・ベネズエラ大統領の就任式に参加(於：カラカス)。
- 23日 オルテガ大統領は、ゲラシモフ・ロシア連邦軍参謀総長と会談(於：マナグア)。
- 24日 サントス外相は、イタリアを訪問し、同国外相と会談(於：ローマ)。
サントス外相は、ローマ法王を表敬(於：バチカン)。

3 経済

- 9日 当地エル・ヌエボ・ディアリオ紙は、ニカラグアの2012年のフリーゾーンの輸出額は前年比で増加したこと、その背景には、ワイヤーハーネスの製造が伸びたことがあり、日本企業がその中核的企業であること等を報道。
- 12日 当地ラ・プレッサ紙は、ファイナンシャル・タイムズ紙に掲載された米州の未来都市ランキング外国直接投資戦略部門で、マナグアが3位になった旨報道。
- 15日 1ヶ月の平均使用電力量が150kWh以上の利用者の電気料金が、7.78%引上げ。

- 17日 世銀は、2013年のニカラグアの経済成長率予測を3.9%と発表。
- 18日 国会はECOALBA-TCP協定を承認。
- 22日 当地エル・ヌエボ・ディアリオ紙は、国際コーヒー機関によれば、ニカラグアはオーガニックコーヒーの輸出量で世界5位である旨報道。
- 23日 ECLAC（国連ラテンアメリカ・カリブ経済委員会）は、ラ米・カリブ地域経済見通し再改訂版を公表し、2013年のニカラグアの経済成長率予測を5%と発表。
- 29日 当地訪問中のオリベイラ国際コーヒー機関代表は、ブカルド農牧林業大臣、ソロルサノ通商産業振興大臣、ハスラン家族・コミュニティー・協同組合経済大臣及び生産者、輸出業者等と会談。

（了）